



NECはドローン事業者から飛行計画を受け付け、受付済みの飛行計画と干渉しないかなどを確認し承認可否を判定するシステムを、NTTデータはゼンリンの地図・建物データや工事などによる臨時の規制空域などを管理し、ドローンが飛行を予定する空域に支障がないかを判定するシステムを、日立製作所はドローンの運航中に他のドローンなど障害物と衝突の恐れが生じたときに警告を出したり飛行計画の変更を促したりするシステムを、それぞれ分担して開発している。



NEDOの宮本和彦ロボット・AI部プロジェクトマネージャー

今後の課題については「（ドローンの登録や飛行プランの申請などが）簡単にできるユーザー・インターフェースの開発、プロジェクト外へのAPI公開に伴うセキュリティーの担保などが重要だ」（NEDOの宮本和彦ロボット・AI部プロジェクトマネージャー）としている。

（日経 xTECH/日経コンピュータ 金子寛人）

〔日経 xTECH 2019年10月30日掲載〕

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.